

連載

心温まる 1冊8

図書館司書がお薦めする本を紹介しします。
問 生涯学習センター図書館 (☎025-224-2120)



一年の風景 著者：池波正太郎
発行元：朝日新聞出版 発行年：2021年12月(単行本は1982年9月朝日新聞社刊行)
市内図書館所蔵数：単行本1冊、文庫本3冊

内容紹介

『鬼平犯科帳』『剣客商売』などの代表作で知られる時代小説の名手、池波正太郎の随筆集です。

随筆「昔の味」では、夕飯の冷ややっこや精進揚げ、しょうゆと焼きのりをかけた炊きたたのご飯の味を思い出し、特別な料理はなくても質の良い食べ物で満ち足りていた子どもの頃の食事について語っています。

そのほか、旅行の思い出や愛猫のことなど、刊行当時59歳だった著者の日々のエピソードがつつらられています。

おすすめポイント

- ことし1月、池波正太郎は生誕100周年を迎えました。随筆の中で、「老い」に対する不安や会えなくなった人を思う寂しさに触れ、若い頃のようにはいかないと感じつつも、旅行や芸術を楽しみ、なお精力的に仕事に取り組む池波の姿が目につかびます。
- 生前、池波は食通・美食家としても有名でした。美しく丁寧な文章で紡がれる全42編の随筆は、まるで心を込めて作られた料理のように、読む人の心を満たしてくれます。



市の図書館で所蔵している資料は、ウェブ予約=右=で希望する館に取り寄せて借りることができます。
※図書館の窓口で事前登録が必要



新連載

おでかけ日和 1

お出かけにぴったりの市内の施設を紹介しします。



施設名 旧齋藤家別邸

(中央区西大畑町 ☎025-210-8350)

開館時間：9時半～18時 ※10～3月は17時まで。月曜(祝日の場合翌日)、祝日の翌日(土・日曜の場合翌火曜)、年末年始休館
料金：一般300円、小中学生100円 ※土・日曜、祝日は中学生以下無料

同施設は、近代の新潟を代表する豪商・四代齋藤喜十郎の別荘として、大正7年に造られました。砂丘の地形を巧みに利用した庭園と、庭園に向け開放的に造られた近代和風建築が見どころで、大正時代の「港町・商都新潟」の風土色を豊かに伝えています。平成27年3月10日には新潟市初の国の名勝に指定されました。

同施設では、さまざまな展覧会や講座も開催しています。ぜひ、新潟の文化を感じに出かけてみませんか。
※関連記事を別冊情報ひろば2・3面に掲載



▲同施設ホームページはこちら

施設の職員に聞きました

季節によって異なる庭園の景色が楽しめます

庭園は、初夏の新緑・秋の紅葉・冬の雪化粧など四季折々の景色を見せてくれます。庭の散策はもちろん、屋敷から見る庭も部屋によって見え方が違うので面白い。いろいろな楽しみ方をしてみてください。



同施設 学芸員 久保 有朋さん

6月は食育月間

日頃の食生活を見直そう

問 食と花の推進課 (☎025-226-1802)

新潟市はコメをはじめ、野菜や果物、日本海で取れる新鮮な魚など、豊かな食材に恵まれています。

身近にある食材や料理を楽しみながら、この機会に日頃の食生活を見直してみませんか。

食生活を見直す3つのポイント

①食を楽しむ

- 家族や友人と一緒に食事をする
- 野菜などの栽培や収穫を体験してみる

②食を大切にする

- 身近な場所で取れた食材を選ぶ
- 食品ロスを減らす
- 新潟の郷土料理を作ってみる



③食で健康になる

- 主食・主菜・副菜のそろった食事をする
- 朝食をしっかり食べる

食育メニューや旬の食材を味わおう

毎月19日は「食育の日」です。新潟市では「食育の日協力店」に登録されている市内の飲食店やスーパーと協力して、市民の皆さんの食育を後押ししています。

6月は、協力店の飲食店で期間限定の食育メニューを提供するほか、スーパーで旬の地場産食材を提供します。

※詳しくは新潟市ホームページに掲載



カフェテラスピア(中央区)の食育メニュー



スマートフォンはこちら

定期的に検診を受けましょう。

問 健康増進課 (☎025・212・8162)